

2025 年 8 月 29 日

各 位

株式会社北洋銀行

ア タ エ ル
株式会社ATAERU様と
「サステナブル経営支援ローン」の契約を締結しました

北洋銀行(取締役頭取 津山 博恒)は、株式会社ATAERU様(代表取締役 木田 伸雄様)と、「サステナブル経営支援ローン」(以下、本ローン)の契約を締結しました。

本ローンは、北洋銀行が提供するSDGs コンサルティングや、お客さまとの対話を通じて設定された重要課題のうち、環境・社会・経済に好影響を与え得るもの、もしくは悪影響を抑制し得るものを「サステナビリティ目標」と定義し、その有意義性について第三者からセカンドオピニオン※を取得する融資商品です。

株式会社ATAERU様では、重要課題を「インテリア工事・エクステリア工事を通じた空き家問題解決への挑戦」と設定し、重要課題に基づく目標・KPIを、地域社会の課題とされる空き家に付加価値を付けて流通を図る「空き家事業」の立ち上げと増加とし、サステナビリティ経営を実践していきます。

当行は今後も、ほくようサステナブルファイナンス等を通じ、北海道を営業基盤とする金融機関として環境・社会問題に前向きに取り組むお客さまを支援してまいります。

※ 株式会社北海道共創パートナーズによるセカンドオピニオンは別紙をご参照ください。

記

【株式会社ATAERU様の概要】

所 在 地	北海道札幌市東区東苗穂12条2丁目7番32号
代 表 者	木田 伸雄様
事 業 概 要	インテリア工事(内装工事)、エクステリア工事(外構工事) 等

【契約記念の様子】



右:株式会社ATAERU

代表取締役 木田 伸雄様

左:北洋銀行栄町支店

支店長 織田 夕輔

以 上

《北洋銀行グループ サステナビリティ方針》

北洋銀行グループは「経営理念」と「行動規範」に基づく企業活動を通じて、当行グループを支えていただいている全てのステークホルダーと地域社会・環境の持続的発展に貢献するとともに、当行グループの中長期的な企業価値の向上と持続的経営の実現に努めます。

株式会社^{ア タ エ ル}ATAERU株式会社北海道共創パートナーズ
コンサルティング事業部ほくようサステナブルローン
サステナブル経営支援ローン

本セカンドオピニオンは、株式会社 ATAERU(以下、「ATAERU」または「当社」という)が北洋銀行の融資商品「サステナブル経営支援ローン(以下、本ローン)」を利用するにあたり、株式会社北海道共創パートナーズ(以下、「HKP」)が第三者の立場から発行するものである。

本ローンは、お客さまの SDGs 経営とサステナビリティ目標に対し、第三者からの評価を取得し、融資実行後においても北洋銀行との継続的な対話等を通じ、企業の持続性の向上を支援する商品である。

1. 企業概要

(1) ATAERU 基本情報

企 業 名	株式会社 ATAERU	
代 表 者 名	木田 伸雄	
事 業 拠 点	北海道札幌市東区東苗穂12条2丁目7番32号	
資 本 金	3,000 万円	
従 業 員	34 名(2025 年 3 月時点、役員含む)	
事 業 内 容	インテリア工事(内装工事) エクステリア工事(外構工事) 水廻りリフォーム工事 等	
沿 革	2017 年	株式会社 ATAERU を札幌市北区にて設立。 インテリア工事業と自動車事業の二つの事業を展開。
	2020 年	本社を札幌市東区東苗穂 9 条に移転。
	2021 年	本社を札幌市東区東苗穂 12 条(現本社所在)に移転。 札幌市東区東苗穂 9 条を自動車事業部として設置。
	2024 年	資本金を 3,000 万円に増資。 株式会社よかったを設立し、自動車部門を分社化。 アサリプロジェクト株式会社の事業を継承し、ハウスクリーニング事業を開始。

(2) ATAERU グループ概要



出所：ATAERU 提供資料より HKP 作成

ATAERU グループは、インテリア・エクステリア工事を主体とした株式会社 ATAERU、自動車販売を主体とした株式会社よかった、ハウスクリーニング事業を展開するアサリプロジェクト株式会社の 3 社で構成される。

企業理念

ATAERU グループでは、社員とその家族、仕入先・外注先とその家族、顧客とその家族、地域社会など、当社を取り巻く全てのステークホルダーに幸せをもたらすことを目指している。そして、ステークホルダーの幸せの実現には、当社自身が周囲に幸せや成長機会等を与えることが重要と考え、当社の社名と企業理念を定めている。

企業理念

すべての人に ATAERU(与える)を！

幸せは ATAERU(与える)から始まる

人は人によって幸せになる



↑ 理念をもとに作成した
ロゴマーク

出所：ATAERU 提供資料

(3) 事業展開

① インテリア・エクステリア工事事業

ATAERU グループは、株式会社 ATAERU にて、「3 年以内に札幌エリアでインテリア施工件数No.1」という事業部ビジョンを掲げ、インテリア工事やエクステリア工事をはじめとした各種工事を行っている。

事業部ビジョン

3 年以内に札幌エリアでインテリア施工件数No.1

ATAERU のインテリア工事では、クロスの張替え、キッチン・トイレなどの水回り交換、エアコンの設置など、室内のリフォーム全般を手掛けている。特にアパートやマンションの入退去に伴う原状回復のプロセスでは、リフォームや清掃のみならず、入居者との立ち合い日程の調整や、立ち合いの実施、室内写真の撮影、入居前点検まで含めたトータルサポートを提供。物件の価値を維持し、快適で安心な住環境の実現をサポートしている。

また、エクステリア工事では、カーポートや物置の設置、アスファルト舗装工事、外壁塗装、雨樋や雪庇止めの設置、防水工事など外構工事全般を手掛けている。さらに、エクステリアで必要となる金属製品の設計製作も行い、顧客のニーズに応じたカスタマイズを提供している。

ATAERU は、迅速かつ丁寧な対応を心掛け、顧客のニーズに応じたインテリア工事と、耐久性と美観を兼ね備えたエクステリア工事を提供し、建物の価値を高めることを目指している。今後は、不動産販売会社の開拓やオフィス物件の原状回復にも施工案件のすそ野を広げ、事業理念の実現を目指している。

■ 施工事例



出所：ATAERU 提供資料

② 自動車事業

ATAERU グループは、株式会社よかったにて、自動車販売等の事業を行っている。車の購入や整備過程における情報の非対称性の解消に努める事業部ビジョンを掲げている。よかったでは、来店するユーザーに対し、車の状態や整備の必要性・理由を丁寧に説明し、十分な納得を得た上で取引を行うことで、「よかったで、よかった」と感謝される事業活動を目指している。

事業部ビジョン

「言われるがまま」撲滅宣言

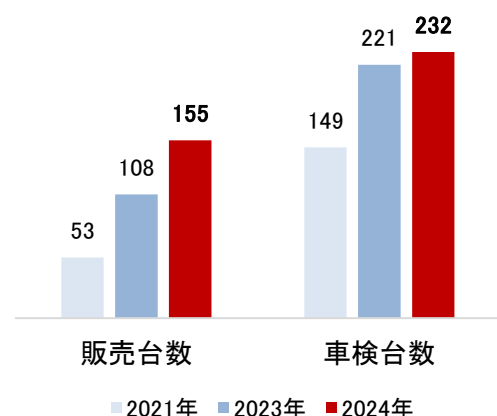
一人でも多くの人を”車屋の言いなり”から救い、車との適切な付き合い方を与える。

自動車事業では、新車・中古車の販売を主軸に、幅広いトータルサービスを提供している。新車・中古車の販売では、多様なニーズに応えるため、豊富な車種と価格帯を取り揃え、顧客一人ひとりに最適な一台を提案している。また、整備や車検、部品取り付けにおいては、専門知識を持つスタッフが高品質なサービスを提供し、安全で快適なカーライフをサポートしているほか、コーティングや美装、清掃も手掛け、車の美観を保ち、長期間にわたって愛車の価値を保つサポートをしている。更に、事故や保険修理にも迅速に対応し、ユーザーの不安を軽減しているほか、レンタカーサービスも展開し、短期的な利用ニーズにも応えている。よかったは、ユーザーの満足を最優先に考え、信頼性の高いサービスを提供することで、地域社会におけるドライバーのパートナーとしての成長を続けている。

■ 自動車事業の店舗と成長



よかった自動車事業の成長



出所：ATAERU 提供資料

③ 清掃サービス事業

ATAERU グループは、アサリプロジェクト株式会社にて、各種清掃サービスを提供している。事業部ビジョンには、「美学と品格」を掲げ、美学の言葉には清掃という事業において美意識を追求し続けることで事業のクオリティ向上を目指すという想い、品格という言葉には身だしなみや言葉遣い、振る舞いなどを含めた事業に従事する姿勢の大切さを込めている。

事業部ビジョン

美学と品格

美意識を高く持ち続け、上品に業務に取り組もう

ATAERU グループは、アパートやマンションの入退去に伴う原状回復に必要な清掃サービスを、祖業の一つであるインテリア工事事業とのシナジーを期待して、アサリプロジェクトとパートナーシップを組み参入した。アサリプロジェクトは ATAERU のインテリア工事事業と連携し、賃貸物件の退去後の空室清掃や分譲マンションのリフォーム後清掃を主軸に、大型マンションの定期床清掃やホテル・病院などの施設清掃を含むトータルサービスを展開している。さらに、ハウスクリーニング事業の強化に向け、「ハートマックス」の屋号で在宅訪問型ハウスクリーニング事業を開始しているほか、北海道内で普及が進むエアコンの清掃にも注力。清潔で快適な住環境を提供し、地域社会の生活品質向上に貢献している。

■ 清掃サービスの様子



出所：ATAERU 提供資料

2. サステナビリティ活動

(1) 社会面での活動

■ 働きやすい職場づくり

ATAERU は、社員が働きやすい職場環境を整えるため、さまざまな取り組みを行っている。まず、年に一度の昇給制度を設けており、2024 年度には役職員の成果や成長に応じて、1 万円から 5 万円の賃上げを実施。これにより、社員のモチベーション向上と生活の安定を図っている。また、あんしん財団や生命保険に全社員を被保険者として加入することで、業務に関連しない（労災の対象とならない）病気やケガでも役職員が保険給付を受けられるような体制を作っている。さらに、あんしん財団の福利厚生サービス（旅行、レジャー、グルメ、リラクゼーション、健康増進など多岐にわたるサービスを、会員料金や特典付きでの利用）も利用可能で、社員の満足度を高めている。オフィスには無料のドリンクバーを設置し、リフレッシュしながら働ける環境を整備。加えて、プロ野球の無料観戦チケットを希望者に配布し、社員の充実した余暇活動を支援している。これらの取り組みを通じて、ATAERU は社員の満足度と生産性を向上させ、働きがいを高めることを目指している。

(2) 環境面での活動

■ 脱炭素社会実現への貢献

ATAERU は、省エネルギー化を進め、脱炭素経営を推進している。まず、オフィスの LED 化を 100%実施し、蛍光灯と比べておよそ 50%の省エネ効果を実現。また、営業車両においても環境負荷を考慮し、低燃費車両を導入。具体的には、現場用のバン・ライトバンを除く営業車両 8 台のうち、2 台をハイブリッド車（HEV）に、残り 6 台を低燃費の軽自動車に切り替えている。これにより、燃料消費によるコストの削減と環境への配慮を両立し、持続可能なビジネス運営を推進している。

■ 省資源と廃棄物の抑制

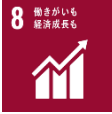
ATAERU は、省資源と廃棄物削減を目指し、インテリア工事で使用する資材の共通化を進めている。当社では、クロスや床材をできる限り統一することで、資材が過剰に発注され、最終的に倉庫に眠り廃棄されるリスクを低減している。

また、デジタル化を推進することで、ペーパーレス化を進めている。当社では、複数の現場を一元管理できるアプリを導入し、現場のステータス管理や施工前後の写真投稿、見積もり作成などをデジタルで行うことが可能となった。導入前は紙ベースでの管理が主流で、資源利用と廃棄物の増加に繋がっていたが、現在はデジタル化により生産性向上と省資源・廃棄物削減を実現している。これらの取り組みを通じて、資源利用と廃棄物処理コストの削減と環境への配慮を両立し、持続可能なビジネス運営を推進している。

3. サステナビリティ目標の設定

本ローンの取り組みにあたり、以下の重要課題の達成に向けたサステナビリティ経営の目標・KPI を設定した。

(1) サステナビリティ目標の設定

重 要 課 題	インテリア工事・エクステリア工事を通じた空き家問題解決への挑戦
取 組 内 容	ATAERU が持つ、インテリア工事、エクステリア工事のノウハウを駆使し、空き家問題の解決に貢献する。
設定した目標・KPI	2030 年までに、北海道内の空き家を買取り、インテリア工事・エクステリア工事を行い付加価値を高め、再販する「空き家事業」を立ち上げ、20 件以上実施する。
貢献する SDGs	  

(2) サステナビリティ目標の有意義性

本ローンの組成にあたり、ATAERU は、「インテリア工事・エクステリア工事を通じた空き家問題解決への挑戦」というマテリアリティのもと、上記の目標・KPI を設定した。以下、当社が推進する目標・KPI の有意義性を見ていく。

北海道の空き家率は全国平均を上回る 15.6%に達し、およそ 45 万戸が存在している（令和 5 年住宅・土地統計調査 住宅及び世帯に関する基本集計結果）。

「北海道 空き家等対策に関する取り組み方針（令和 6 年 3 月）」によると、空き家の流通は依然として停滞している。地方においては、空き家の売却や賃貸の意向があっても需要がないことや、改修費用等を回収する見込みが立たないなどの課題が挙げられる。また、宅地建物取引業者や専門家が少ない地域では、空き家の流通が進みにくい状況にある。

空き家の放置は、周辺地域において安全性の低下や公衆衛生の悪化、景観の阻害を引き起こす要因となり、地域住民の生活環境へ深刻な影響を及ぼす。

このような背景を踏まえ、ATAERU は 2030 年までに北海道内の空き家を買取り、インテリア工事およびエクステリア工事を施し、付加価値を高めて再販する「空き家事業」を立ち上げる。

この取り組みは空き家の流通促進、既存建物の活用・資産価値の向上、資源循環・保護など多岐にわたり貢献が期待できる。また、修繕された空き家が新たな住居や事業拠点として活用されることで、地域全体の魅力が向上し、人口減少や過疎化対策につながる事が期待される。

ATAERU が持つ強みをいかし、空き家問題という社会課題に取り組みながら、社会貢献と企業の持続的成長を目指す本目標・KPI は有意義である。

株式会社北海道共創パートナーズ 会社概要

名 称	株式会社北海道共創パートナーズ
本社所在地	〒060-0042 札幌市中央区大通西3丁目7番地 北洋大通センター13階 代表 TEL : 011-596-7814
資 本 金	4,950 万円
株 主	株式会社北洋銀行
代 表 者	代表取締役社長 岩崎 俊一郎
事 業 内 容	①経営に関する問題点の調査・分析、改善案の企画・立案 ②企業戦略の立案、システムの構築および事業承継およびM & Aに関する支援 ③人材育成のための研修業務 ④有料職業紹介事業（許可番号 01 ユ-300467） ⑤投資事業組合財産の運用及び管理 ⑥株式、社債又は持分その有価証券に対する投資業務 ⑦前各号に付帯関連するコンサルティング業務 ⑧前各号に付帯関連する一切の業務
沿 革	2015 年 8 月 株式会社日本人材機構 設立 2017 年 9 月 株式会社日本人材機構と株式会社北洋銀行の共同出資により 株式会社北海道共創パートナーズ設立 コンサルティング事業とプロフェッショナル人材のシェアリング 事業を開始 2018 年 10 月 有料職業紹介事業の許可を取得し、人材紹介事業に参入 2020 年 4 月 株式会社北洋銀行が株式会社日本人材機構の保有する株式を 取得し、100%子会社化 株式会社北洋銀行から M&A 事業を移管 2023 年 4 月 経営コンサルティング事業の中の補助金コンサルティングを 補助金事業部として事業部化

留意事項

本文書は、貸付人が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の SDGs 経営とサステナビリティ目標の有意義性に対する第三者意見を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

HKP は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任を負わないものとします。

本文書に関する一切の権利は HKP に帰属します。HKP の事前の許諾無く、本文書の全部または一部を自己使用の目的を超えて使用すること（複製、改変、翻案、頒布等を含みます）は禁止されています。

【独立性】

HKP は、北洋銀行グループに属しており、北洋銀行および北洋銀行グループ企業との間および北洋銀行グループのお客さま相互の間における利益相反のおそれのある取引等に関して、法令等に従い、お客さまの利益が不当に害されることのないように、適切に業務を遂行いたします。

また、本文書にかかる調査、分析、コンサルティング業務は北洋銀行とは独立して行われるものであり、北洋銀行からの融資に関する助言を構成するものでも、資金調達を保証するものでもありません。

【第三者性】

借入人と HKP との間に利益相反が生じると考えられる資本関係及び人的関係などの特別な利害関係はありません。